

駒門駐屯地創立64周年記念行事挙行

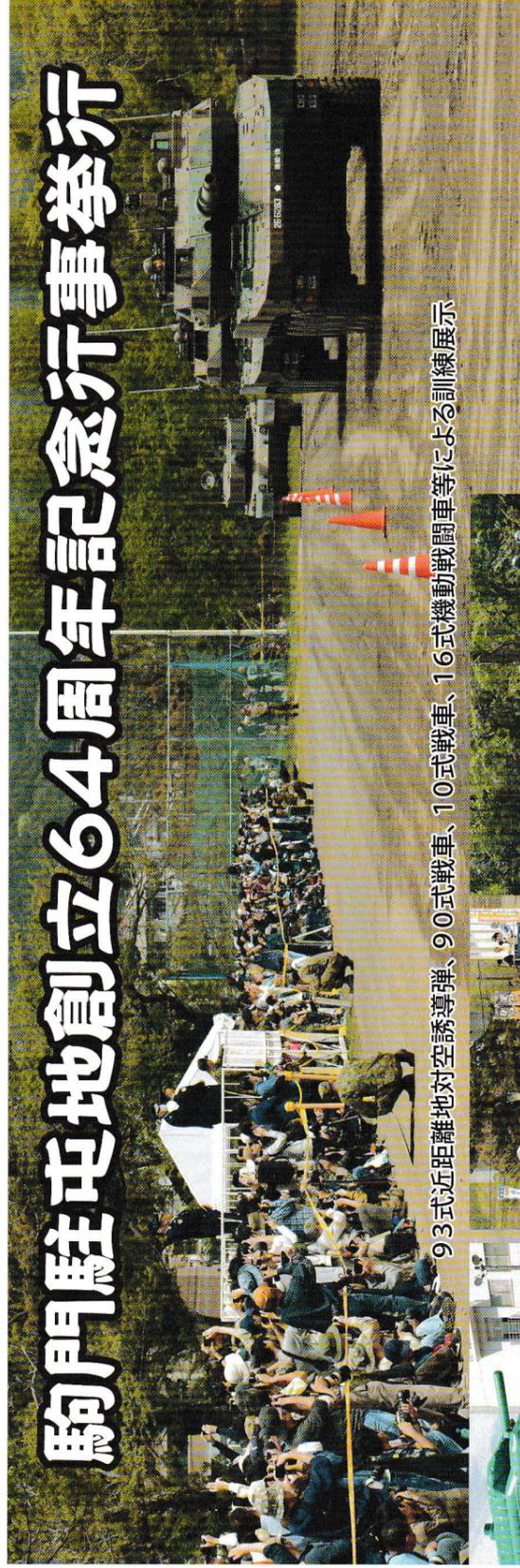


駒門 広報 KOMAKADO

発行所
駒門自衛隊協力会
事務局：富士岡支所
TEL 0550-87-0976
裾野市自衛隊協力会
事務局：裾野市役所
TEL 055-995-1874

連絡所
駒門駐屯地広報
〒412-8585
御殿場市駒門5-1
TEL 0550-87-1212

印刷所
エビスLLC
〒412-0021
TEL 0550-70-0022



93式近距離地对空誘導弾、90式戦車、10式戦車、16式機動戦闘車等による訓練展示



オートバイドリルを披露する偵察隊の隊員



大勢の来場者で賑わう模擬売店



子供達に人気の10式戦車型エアードーム



90式戦車・10式戦車の動的展示



装備品展示(装輪車)



90式戦車試乗



記念式典において威風堂々の駐屯地各部隊



駒門駐屯地らっぽうと富士学校音楽クラブによるらっぽう吹奏



マッチョ隊員と記念撮影する来場者



格闘体験する子供達

令和六年四月二十日(土)、駒門駐屯地創立64周年記念行事を挙行了。駐屯地所在部隊の威容を発揮し、駐屯地に対する地域住民への日ごろの感謝、駐屯地への理解及び信頼感の醸成を図るとともに部隊相互の融和団結、隊員の士気の高揚を図った。

感謝状贈呈式、記念式典、祝賀会食等のご来賓向け行事、オートバイドリル、格闘展示、マッチョコンテスト、らっぽ吹奏、

訓練展示(ゼロヨン、一般向け行事のほか、試乗、婚活隊員紹介、模擬売店、子供日開催行事として実施した。今年重点を置き一般来場者を楽しんでいただくべく企画した。懸念された天候にも恵まれ、ご来賓・一般来場者合わせて2,647名が駒門駐屯地を訪れ、有意義な時間を過ごした。

駐屯地司令 感謝状 受賞者紹介

平素から国防の重要性と陸上自衛隊の使命に深いご理解を示され、防衛基盤の育成と駒門駐屯地の発展にご尽力された功績により、左記の方々が駒門駐屯地司令より感謝状を贈呈されました。おめでとうございます。

- やましたクリニック 山下 和彦 殿
- 裾野市自衛隊協力会 副会長 岩崎 正行 様
- 駒門自衛隊協力会 会長 勝間田 正司 様
- 有限会社 大場素陸商店 取締役 大場 公嘉 様
- 古楓堂 堀川印刷所 渡辺 裕子 様
- 国際活動教育隊協力会 会員 佐藤 恭彦 様
- 在日米軍海兵隊 キャンプ富士 諸職種共同訓練センター 不発弾処理チーム 様
- 国際活動教育隊協力会 会員 岡部 博 様
- 国際活動教育隊協力会 会員 早川 清春 様
- 大井町自衛隊協力会 副会長 片野 昭 様
- 小田原市自衛隊協力会 副会長 久津間 裕行 様
- 箱根町自衛隊協力会 副会長 芝 和道 様
- 株式会社 イクス 様



会長就任のごあいさつ
駒門自衛隊協力会 会長 小澤 昭司

駒門自衛隊協力会は、地域住民と駒門駐屯地の親睦と相互協力を目的として昭和三十九年に設立され、それ以来、駒門駐屯地と地域住民の交流を図って参りました。

さて、自衛隊に求められるものは時代によって変化しており、近年は災害対応を期待する声が高まっています。本年一月の能登半島地震でも自衛隊が出動し、その活動がメディアで報じられたところ。被災地で活動する隊員や後方支援業務にあたる隊員の皆様には、心より敬意を表します。

当地でも大規模災害が発生する可能性は十分にあります。そのような緊急時に自衛隊が能力を十分に発揮するためには、地元住民の理解、平時の交流が重要であると考えます。

当会は、今後も駐屯地と住民がお互いに顔の見える関係であるよう支援して参りたいと存じます。



会長ごあいさつ
裾野市自衛隊協力会 会長 志村 宏之

駒門駐屯地の皆様、連日の訓練等でご苦勞様です。世の中はコロナ問題もあり騒がれず、あの混乱は何だったのかと思われています。早いもので今年も半分が過ぎようとしております。

今年四月に駒門駐屯地創立記念行事に出席させて頂き、その時二名の元司令に再会致しまして、一名の方は定年退職され、民間企業で活躍されているとのこと。もうお一方は現職であるとのこと。お互いに喜びあいまして、うれしく思いました。この度の広報紙発行に忌憚ない意見をとのことで申し上げます。

五月に富士総合火力演習の予行見学に行く機会があり、約十年ぶりの見学でしたが、演習内容が満足の行く内容でありませんでした。教育演習日であったことは理解できますが、約数千人の見学者が来ている訳です。演出進行に一考をお願いしたいと思います。周りに見学していた方々も不満の声がかけられました。苦言をお許しください。

機甲教導連隊

令和六年度富士総合火力演習

機甲教導連隊は、令和六年五月二十六日(日)、令和六年度富士総合火力演習に、連隊長以下353名が参加した。

本演習は学生等に対して各種火力発揮の要領や高しよ防衛における火力戦闘の実相を教育する演習であり、連隊は、小隊戦闘射撃やネットワーク・

指揮統制装置による各種射撃要領等を展示するとともに、即応機動連隊として諸職種協同による高しよ防衛の陣地攻撃・陣地防衛の場面で戦車等の火力戦闘を一連の状況下で展示し、与えられた任務を完遂して、演習目的の達成に貢献した。



10式戦車のスラローム射撃



90式戦車の夜間射撃

国際活動教育隊

外務省委託事業「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」支援

国際活動教育隊は、令和六年一月十九日(金)、広島平和構築人材育成センター(HPPC)が担任する外務省委託事業「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」の研修支援(省庁間協力)を実施した。十カ国から

の留学生十名を含む研修生二十名に対して、隊の概要等ブリーフィング、意見交換、各個防護、検問対処、救急法、無線通話法の機能別課目及び実習主体の総合訓練課目を実施し、平和構築に関わる人材育成に寄与した。



ブリーフィング



総合実習(襲撃対処)

第一高射特科大隊

令和五年度師団競技会

第一高射特科大隊は、令和六年二月二十一日(日)から二十六日(金)までの間、朝霞駐屯地において実施された令和五年度第一師団競技会において至近距離基本射撃部門及び分隊による駅伝(武装走)三キロ部門に参加し、寒空の下、大隊長を核と

し団結して旺盛な士気のもと健闘するとともに、任務に必要な射撃練度及び体力の向上、並びに隊員の士気の高揚を図った。

本競技会駅伝女子の部で指揮情報中隊(現在水陸機動団へ転属)の住福三曹が三位に入賞した。



駅伝競技会一斉スタートの様子



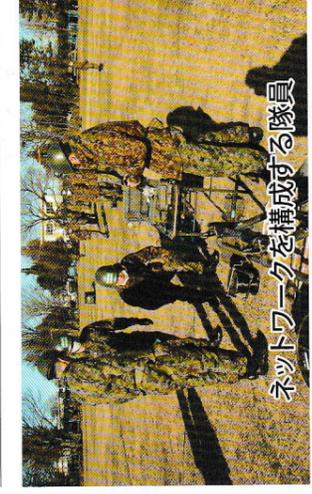
見事な射撃を実施する水田3曹

高射直接支援隊

令和五年度連隊通信競技会

高射直接支援隊は、令和六年二月二十七日(火)から二十八日(水)までの間、駒門駐屯地及び練馬駐屯地で実施された令和五年度連隊通信競技会において、学科の部及び術科の部に参加した。二十八日練馬駐屯地にて実施

された術科の部においては、各隊員が役割を理解し迅速確実な通信構成を実施したことにより、ネットワークの部、無線の部共に参加十五部隊中第三位の成績を収め、野外における通信練度の向上及び士気高揚に大きく貢献した。



ネットワークを構成する隊員



無線通話をする隊員

駒門駐屯地業務隊

広報活動(能登高校就学支援)

令和六年三月十一日(月)から二十四日(日)までの間、駒門駐屯地業務隊は、広報活動(能登高校就学支援)を実施して、令和六年六月に発生した能登半島地震において被災した、石川県立能登高校の教員に対して駐屯地の提供及び隊員食

堂における給食の提供により就学を支援した。

今回の広報活動を通じ、自衛隊への理解を促進するとともに、じ後の業務の資を得ることができた。引き続き、防衛基盤の醸成に寄与できる環境構築に努めていきたい。



駐屯地施設(体育館)の提供



体験喫食

富士地域援護センター

令和六年度定年退職予定者教育

富士地域援護センターは、令和六年四月二十四日(水)から二十五日(木)までの間、令和七年度までの定年退職予定者(今年参加者二十八名)に対し、令和六年度定年退職予定者教育(定年一年前)を実施した。

雇用情勢及び再就職に対する心構え等について教育を実施して、退官後の生活設計及び再就職に必要な準備を推進させた。

引き続き、退官後の不安を少しでも払拭するとともに、安心して再就職に臨めるよう隊員に寄り添った就職援助を実施していく。



面接トレーニング中の隊員



外部講師によるセミナー

転入指揮官紹介

東部方面輸送隊
駒門自動車
教習所所長



3佐 瀬戸 輝雄

北富士駐屯地業務隊(北富士)から

第433会計隊
駒門連絡班
班長



准尉 芳賀 富重

東部方面会計隊
第433会計隊(滝ヶ原)から

転出指揮官紹介

東部方面輸送隊駒門自動車
教習所所長

三佐 小林 輝臣

転出先：東部方面
後方支援隊付(駒門)

第433会計隊駒門連絡班班長

三尉 内田 幸也

定年退職：ぬましんビジネス(株)

令和六年度主二タ一紹介

防衛主二タ一(任期二年)

静岡県御殿場市

岩橋 照明様

駐屯地主二タ一(任期一年)

静岡県裾野市

勝又 政光様

定年退職 予定者

機甲教導連隊
一曹 金子 信也
(七月十日)

機甲教導連隊
一曹 永嶋 聡
(九月十八日)

編集後記

駒門駐屯地創立64周年記念行事の来場者数は、前年比の約三割増しとなる2,647名のご来場者数となりました。開催者側から見てもイベント性に富んだ内容で、皆様にも楽しんでいただけたのではないのでしょうか? アンケート等でご指摘がありました事項は努めて改善し、次年度更に楽しんで頂ける内容を盛り込んでいきたいと思っております!

梅雨が明ければ様々なイベントが行われる夏がやってきます!

駒門駐屯地は、新編等による人員の減少、それに付随した教育訓練支援等の任務遂行のため、令和五年度より駐屯地夏祭りを中止しております。ご理解の程よろしくお願いいたします。

祝 1万人突破!

7オローお願います!